

# 笠置町の実質化された京力農場プラン

市町村名	地域名 (該当集落名)		当初作成年月	更新年月
笠置町	全域		令和4年3月	

## 1 対象集落（地域）の現状

a 地区内の耕地面積	57.0 ha
b アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計	31.1 ha
c 地区内における70歳以上の農業者の耕作面積の合計	25.9 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	17.8 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.0 ha
d 地区内において今後中核的担い手が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.0 ha
e 地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.0 ha
(備考)	

## 2 対象集落の課題

笠置町では、高齢の農家が農業を担っており、お米や花菜が生産されているが、農地は山間谷地田が多く、狭小、変形で段差があり効率的な農業ができない。こうした状況から、農業機械が壊れると農業をやめざる負えないという農家が増えている。  
また耕作放棄が進む要因に獣害被害も関係している。  
担い手不足の理由には、若者世代の他市町村への移住があり、大きな課題となっている。

## 3 対象地区内における中核的担い手（中心経営体）への農地の集約化に関する方針

中核的担い手がない状況であり、今後も高齢化が進み、遊休農地が増加することが見込まれる。  
こうした状況から、住居地に近い、平坦でまとまりのある農地について、地域で話し合い、管理できる者を決め、水稻の主要作業を分業し、笠置町のおいしい米を生産する。